

残したいのには、理由がある。

ご存じでしょうか？

利用者減少で、JR加古川線の存続が危ぶまれていることを。

しかし、沿線地域には、

加古川線を残したいと願う多くの人々がいます。

「通学や通勤に欠かせないから」

「地域自慢の絶品グルメを味わいに来てほしいから」

「沿線の美しい風景、伝統のものづくりにふれてほしいから」

そこには、いくつもの理由と想いがあります。

加古川線がつなぐのは、

人々の大切な日常だけでなく、地域の歴史と文化でもある。

だから、まだまだ加古川線はやめられません。

走りつづけてほしい。地域の希望と未来をのせて。



加古川線やめられま線プロジェクト



加古川線が、もっとあなたと地域につながるように。さまざまな施策に取り組んでいます。

“さあ、加古川線(カコセン)を愛そう”利用促進ウィーク

西脇市の地場産品の一つである播州織で電車内を装飾し、加古川線の魅力をPRしました。

【実施期間】令和5年10月5日(木)～10月18日(水)



黒田庄駅でレンタサイクル事業を開始

令和5年7月より、折りたたみ自転車の貸し出しを開始しています。魅力いっぱいの黒田庄地区周辺を散策ください。

※営業日・営業時間は要確認



加古川線の魅力を伝えるフォトコンテストを開催

あなたが知っている加古川線沿線の“いいところ”を撮影して応募してみませんか。入賞者には素敵なプレゼントも！

【応募期間】令和5年8月1日(火)～12月28日(木)





青春と電車は、 永遠に止まりま線。

西脇高校 2年生

通学とか、休日に遊びに行く時とか。なんだかんだで加古川線と生きている僕たち。もし加古川線がなくなったら？これまでの日々が、きっとこれまでどおりには進まない。まわりの友達もおじいちゃんもおばあちゃんも、きっと困る。だから、僕たちとみんなの毎日に乗せて走りつづける、加古川線！

加古川線やめられま線プロジェクト 🔍

加古川線が、もっとあなたと地域につながるように。さまざまな施策に取り組んでいます。

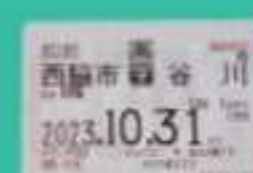
西脇高校の生徒がデザインした播州織を車内で掲出

西脇市の地場産品の一つである播州織を、加古川線沿線の魅力を盛り込んだデザインで作成しました。(協力:兵庫県立西脇高等学校 生活情報科)
【実施期間】令和5年10月5日(木)~10月18日(水)



通学利用者への定期券購入支援

加古川線(谷川駅~西脇市駅間)の利用促進を図るため、通学定期券の購入費用の一部を助成します。



西脇市HP

丹波市HP





残したいのには、理由がある。

か
古
川
線
や
め
ら
れ
ま
線
プ
ロ
ジ
ェ
ク
ト



沿線グルメに自信アリ。 ほかでは味わえま線。

喫茶フォルクス 店員

色とりどりの緑のなかに、ひっそりとたたずむ喫茶店。うちの自慢は、地域の特産品である黒田庄和牛の牛すじカレー。ホロホロの食感と濃厚なうまみで大人気なんです。加古川線沿線には、まだ知られていない絶品がたくさんあるんです。何回だって乗りに来てほしい、絶品グルメ路線なんです。

加古川線やめられま線プロジェクト 🔍

加古川線が、もっとあなたと地域につながるように。沿線のおすすめグルメをご紹介します。

喫茶フォルクス（黒田庄駅）

四季折々の景色を楽しめるフォルクスガーデン内にあるログハウス風のカフェ。ドリンクやスイーツ、軽食メニューなどが味わえます。



JAみのり特産開発センター（黒田庄駅）

世界の舌を魅了する神戸ビーフの素牛「黒田庄和牛」や「播州百日どり」を直売。黒田庄和牛を使ったコロッケやミンチカツもおすすです。





残したいのには、理由がある。

か
古
川
線
や
め
ら
れ
ま
線
プ
ロ
ジ
ェ
ク
ト



新鮮な驚きも、世紀の発見も、 ここでしか出会えま線。

にしわき経緯度地球科学館 学芸員

加古川線沿線には、わざわざ訪れたい場所やこの地域ならではの歴史や産業に出会える施設がたくさんあるんです。東経135度と北緯35度が交差する“日本のへそ”から見る星空もそのひとつ。加古川線でお越しいただくと、つぎの電車まで時間がありますので、心ゆくまで楽しむことができますよ。

[加古川線やめられま線プロジェクト](#) 🔍

加古川線が、もっとあなたと地域につながるように。沿線ならではの名所・風景をご紹介します。

にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」
(日本へそ公園駅)
日本へそ公園内に建てられた
経緯度・地球・宇宙をテーマにした科学館。
映像ホールや展示室、大型反射望遠鏡を
備えた天文台などがあります。



岡の山美術館 (日本へそ公園駅)
西脇市出身の美術家・横尾忠則氏
の作品を収蔵・展示する美術館。
列車を模した斬新な建物で、
地域の文化拠点となっています。



丹波市立丹波電化石工房「ちーたんの館」(久下村駅)
丹波地域で発掘された、
約1億1,000万年前の恐竜の化石を展示。
丹波電が生きた時代を、楽しみながら
学べる体験型学習施設です。

